

大学院生の日について

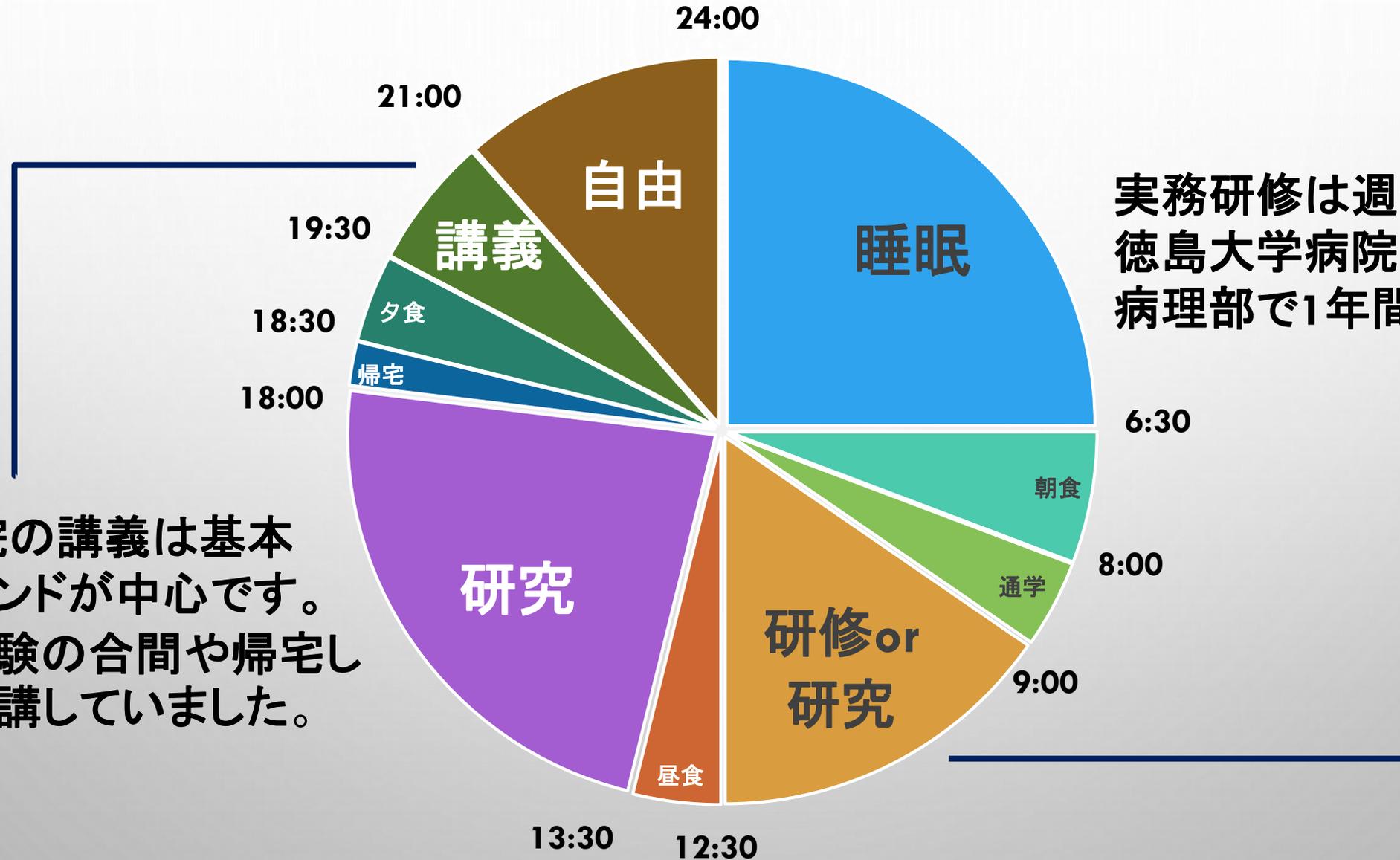
徳島大学大学院 保健科学研究科保健学専攻

病理解析学 M2

西尾 碩人

平均的な私の1日

1年次のタイムスケジュール



実務研修は週2回
徳島大学病院 病理診断科・
病理部で1年間行いました。

大学病院の講義は基本
オンデマンドが中心です。
私は、実験の合間や帰宅し
てから受講していました。

TAおよびアルバイトについて

- 私は週2回 医学部 疾患病理学教室で免疫染色のアルバイトをしています。
- また、月2回ですが徳島大学病院耳鼻咽喉科にて味覚・嗅覚検査のアルバイトにも従事しています。

TAでは、これまで病理検査学や細胞診断学、一般検査学(尿沈渣)などの実習に補助として入りました。

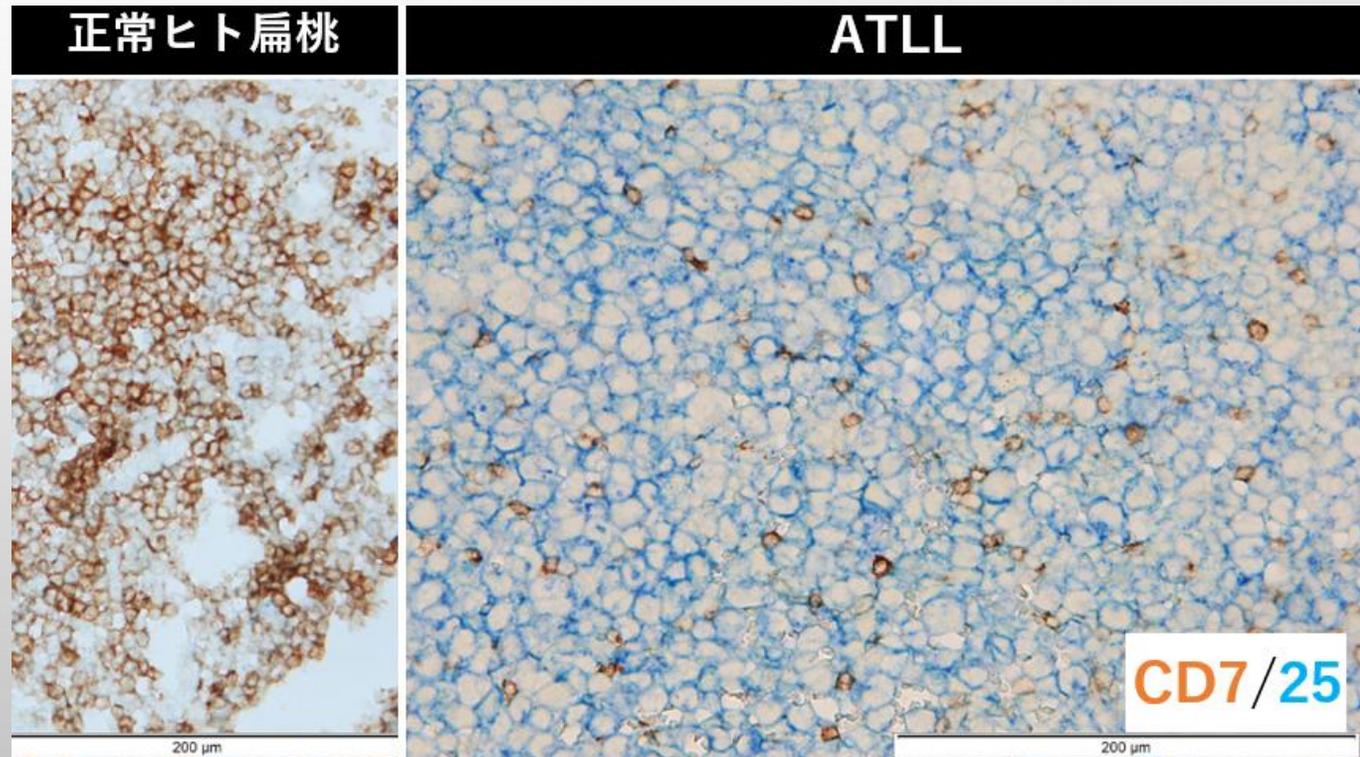
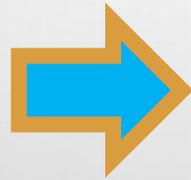
修了された一つ上の先輩は午前中は病院でバイト、午後から研究といった時間配分をされていました。

研究内容

- 成人T細胞性白血病リンパ腫(ATLL)の、新規診断法に関する研究を行っています。
- ATLLに特異な抗体を用いた免疫二重染色によってATLL細胞を検出、診断における有用性について検討しています。

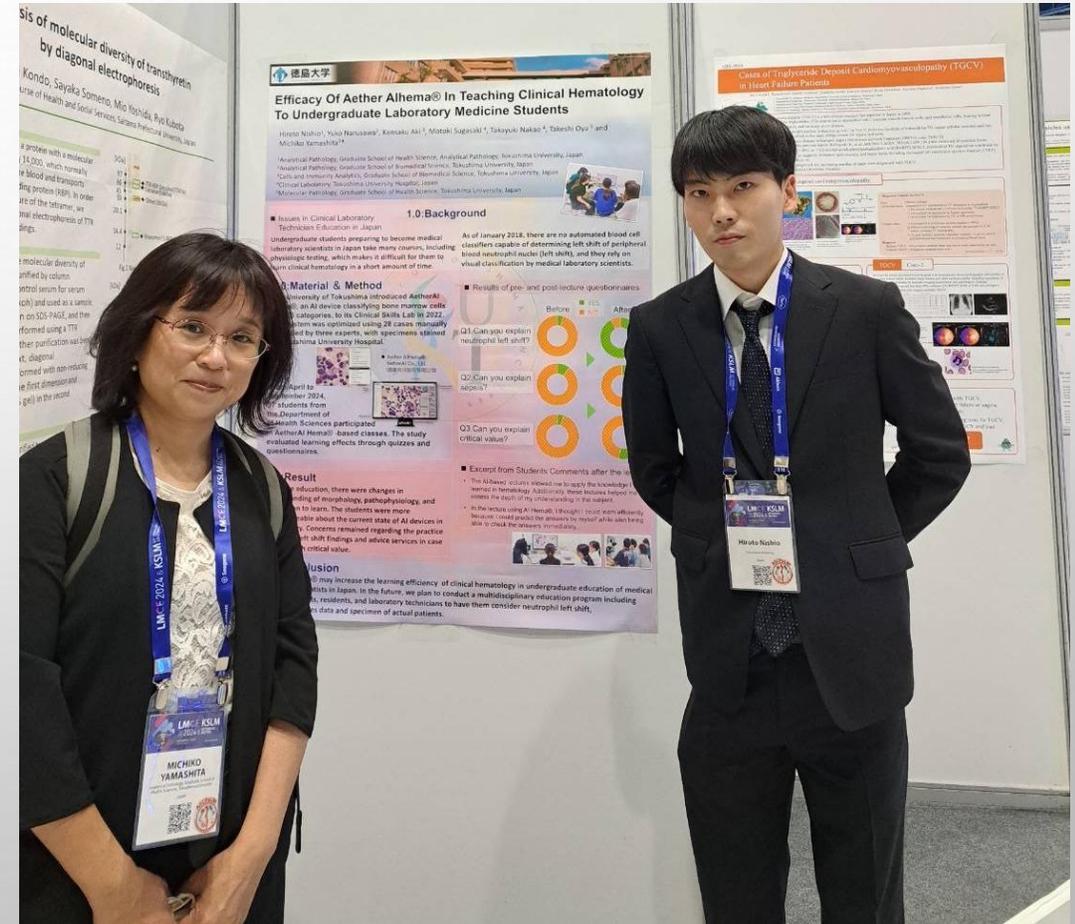
正常組織では茶褐色に染まるが...

ATLLでは大部分が青色



本研究は第71回臨床検査医学会にて発表、
論文文化を行い、現在は査読待ちです。

学会発表



おわりに

- 授業は基本的にオンデマンド配信で、大学生よりも時間を自由に使うことができます。
- TA(ティーチングアシスタント)や徳島大学病院などでのアルバイトを通して教育や実務に携わることもできます。
- 学会参加を通じて国内外に行くことができ、知見を深めることができます。